

第9回症例検討会

case17

2021年8月2日

< 70歳代 女性 >

胃がん末期の夫、在宅診療・看護導入。看取り患者の奥様のケース報告です。

< 注目した事象 > . . . 夫の逝去1～2か月前

主訴：胸の違和感 動悸

娘より：「父を介護する母の様子が最近おかしい。

認知症か？訪問看護中の母の様子を教えてください。」



家族歴： 夫： 胃がん末期 Stage4
息子： 軽度の知的障害あり (知的障害者支援施設にて就労)
娘： 別居 (月に1回程度、様子を見に帰る)

既往症： なし

現病歴： ①初期の肝臓癌 (内視鏡的切除)
②不整脈 (P a f) カテーテルアブレーション治療

※ 「夫が元気なうちに」と、在宅導入とほぼ同時期に治療。
経過良好にて外来フォロー。

生活歴： アルコール（－）喫煙（－）肥満（－）

<人間像>

患者（夫）： 口数が少ない、我慢強い、穏やか。

奥様： 活発。感情表現豊か。器用。世話好き。
コミュニケーション量が非常に多い。

経過

医療 と 看護

X年10月

在宅診療（月2回）

訪問看護（各1回/週）開始

ADL自立。自営業の生前整理。
徐々に癌性疼痛発現。
ペインコントロール開始

患者の状態観察・苦痛の緩和
家族ケア

X+1年 1月

倦怠感、食思低下、臥床がち
麻薬適宜増量

・年末、信頼関係ができたころ、
「看取りのパンフレット」を渡す。

2月

食事量低下
食事と排泄以外はほ
とんど傾眠で過ごす

・家族の思いを傾聴、共有。

・家族の介護負担緩和へのかかわり

・日々の頑張りをねぎらう。

3月

逝去

・思い出話、死に対する思い・感情
の表出をサポート。

経過

奥様の様子・言動

X年10月

「看取りの
パンフレット」

「夫のため、少しでも安楽や快適を整えたい。」

「食べること・寝ることなど、良かれと思った配慮・提案・行いを、夫が受け取らない。」（不満、不安、いらだち）

X+1年1月

胸の違和感 動悸？

「動悸前の胸の嫌な感じがする。動悸が来るのがわかる。」

→受診し再検査：異常なし「精神的なもの」

2月

逝去1か月前

娘より「母の様子が忘れっぽく認知症みたいでおかしい」

→「訪問看護では特に変わった様子はない」と対応

訪問の数時間後、電話。声のトーン、会話のペース、まるで人が違う。しばらく話し通常の状態に戻る。（抑うつ・感情の起伏）

後日、電話で話したことを、丸ごと忘れていた。（健忘）

考察 1

- 弱音を吐かず人に頼らず頑張る夫に対し、自分の支えが
が発揮できない、思うように役に立てていない不満、
いらだちを募らせていた。「頼ってほしい」
- 目に見えて衰弱していく夫をみて、喪失に対する
不安・焦りを募らせていた。
- 「ひとりで抱える」協力者の不足（子）

考察 2

■ 死別の現実を五感で感じる時期。（最も辛い事・ストレス）

■ 死別の感情を先取りする「予期悲嘆」

感情だけではなく、動悸の予兆、認知の変化あり。

■ 「死別後にご遺族が体験すること」



死別後に見られる「グリーフの影響」が、

死別の前から表れていた。

「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

不安



胸の違和感

動悸



身体的

感情の起伏



抑うつ

感情的

認知的

健忘



グリーフによって影響を受ける
「5つのエリア」

精神的

社会的

「グリーンフによって影響を受ける5つのエリア」

身体的影響

- ・ 免疫力の低下
- ・ 疲労・体力の低下
- ・ 肩こり・首のこり
- ・ 睡眠や食欲への影響
- ・ **胃や胸の痛み、不快**
- ・ **動悸**
- ・ 息切れ
- ・ 息苦しさ
- ・ 脱水症状
- ・ 頭痛や吐き気
- ・ めまいやふらつき
- ・ **精神運動速度の低下**
- ・ 心理に起因する身体症状

思考、反応、動作のスピードが低下



「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

認知的影響

- 1度聞いただけでは覚えてもらえない
- 同じことを何回も聞いてしまう
- 掃除や料理などの家事の段取りがうまくいかない
- 予定を立てられない
- ダブルブッキングしてしまう
- **集中力の低下**
- 意思決定ができなくなる



「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

認知症の初期症状
と同じ・・・

感情的影響

- 悲しみ
 - 絶望感
 - 罪悪感
 - 怒り
 - ふさぎ込み
 - 精神的麻痺
 - 不安感
- 無感覚/無関心
 - 感情の変化/起伏の激しさ



死別のストレス・ショック状態

論理的に話せない

話しの道筋がバラバラ

知覚がにぶる

記憶がぬける

注意力が散漫

理解できない
誤った判断



脳の防衛本能

考察 3

■ ストレス状態による 感情面、身体面、認知面の変化

脳の防衛本能、

ストレスホルモン（コルチゾール・アドレナリン）

自律神経の乱れ、

脳内神経伝達物質のアンバランス（過不足・枯渇）

■ 見た目は普通、でも伝わっていない がおきる。

■ 病気は指摘されなくても体調が悪い がおきる。

「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

社会的影響（人間関係）

- 人間関係の変化
 - 「人間関係の喪失あるいは固執」
 - 「誰を頼りにしていいかわからなくなる」
- 疎外感、孤立感
- コミュニティからの孤立、引きこもり
- 自分がどう見られても構わない
- 信頼感の欠如
- チームプレーヤーとしての能力の低下
- 責任放棄



「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

精神的影響

- ・ 生きがいや生きる意味への問いかけ
- ・ 「仕事のやりがい」や「働く理由」がわからなくなる
- ・ 神や仏などの信仰や教えに対する疑問
- ・ 人生観や人生哲学に対する疑問
- ・ 精神心理的な「なぜ」という疑問が次々と湧き上がってくる

「なぜ あの子が死ななければならなかったの？」

「なぜ 神様は、私にこんな痛みを与えるの？」

「なぜ 生き続けなければならないの？」



考察 3

- 「死別の喪失」のストレス + 「我慢」のストレス
- 家族に対する看護は、「十分に、継続的なかわり」が実際には難しい！
死別を迎えてもグリーフサポートの支援が理想

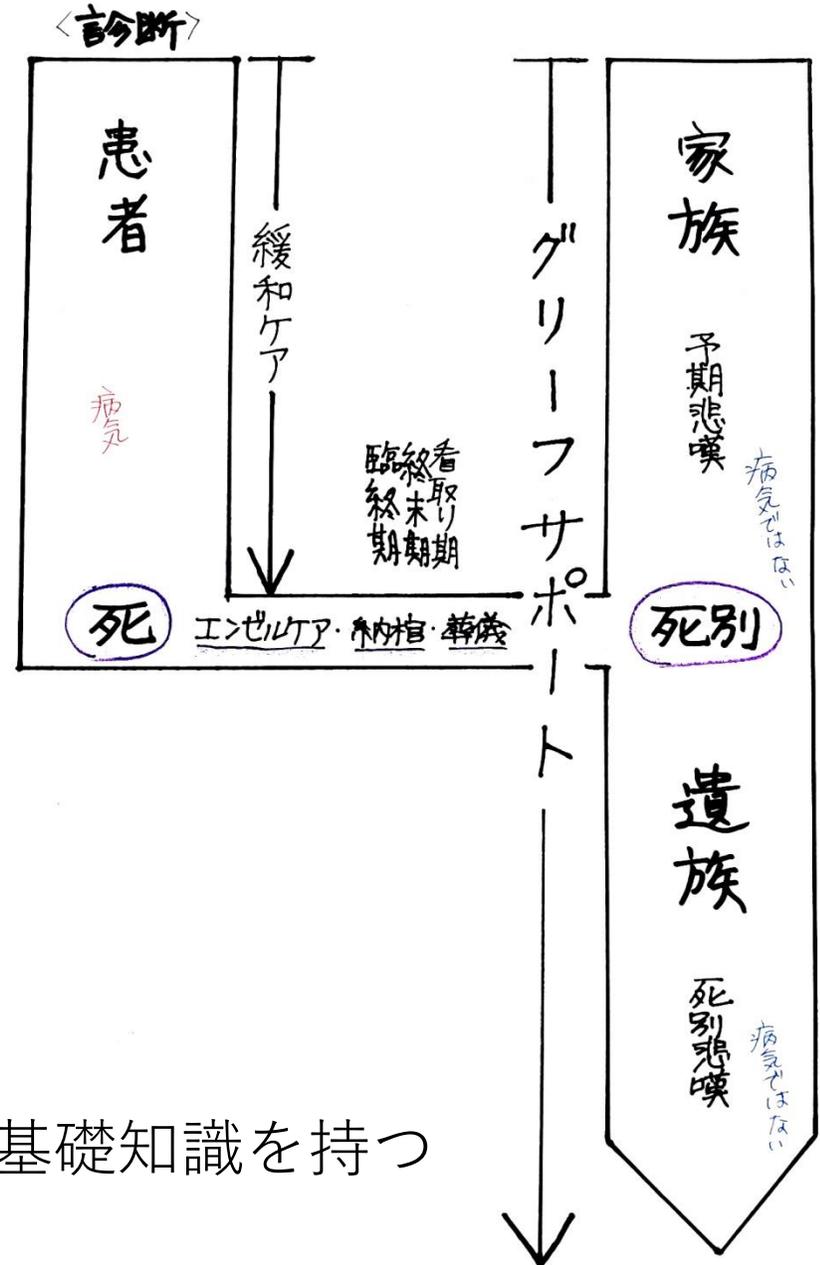
折り合いをつけるために
必要な6つのこと



出展 : Center for Loss & Life Transition

■ 家族 = 遺族予備軍

観察・理解力を上げる、グリーフの基礎知識を持つ
基礎教育にグリーフ教育



目的 死の現実を受けとめる為
提供 家族遺族のグリーフワークをサポートする
(悲しさを回復する作業)

文献

「グリーフについて」

[GSI CO.,LTD. | グリーフとは \(griefsupport.co.jp\)](http://griefsupport.co.jp)

[グリーフとは | 一般社団法人 グリーフサポート研究所 \(griefsupport.or.jp\)](http://griefsupport.or.jp)

Grief-Center for Loss & Life Transition(centerforloss.com)

「グリーフによって影響を受ける5つのエリア」

(株) ジーエスアイ グリーフサポートセミナー ベーシックコースP.21-23

「折り合いをつけるために必要な6つのこと」

(株) ジーエスアイ グリーフサポートセミナー アドバンスコースP.86-103

出展 : Center for Loss & Life Transition